教科	科目	単位数	学年	学科・選択等
理科	物理	2	2	全学科・選択

科目の概要	「物理」は、「物理基礎」との関連を図りながら、更に進んだ物理学的な方法で自然の事物・現象を取り扱い、観察、実験などを通して、物理学的に探究する能力と態度を身につけ、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる科目である。		
学習目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
教科書	啓林館　高等学校　物理		
副教材等	啓林館　物理基礎の基本練習		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	平面内の運動についての観察、実験などを通して、曲線運動の速度と加速度、放物運動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	平面内の運動について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	平面内の運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	下記の①～⑤の項目をもとに、各学期の成績を判断する。 ①授業への取り組み 物理への関心等で判断する。 ②ノートへの記載内容 授業内容を適切にノート・プリントにまとめられているかを評価する。 ③観察や実験での取り組み 観察や実験中の態度、予想や考察内容、実験器具の取り扱い方、レポート等から評価する。 ④教科書や問題集の問題への取り組み 提出物を手がかりに、各問題への取り組みを評価する。 ⑤定期考査や小テスト 学習内容に合わせて問題を出題する。		
担当者より （注意事項等）	予習・復習をして物理現象について関心を持って欲しい。		

◎年間学習計画

学習内容	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
物体の運動と剛体のつり合い	○	○								
運動量と力積		○	○							
円運動と単振動				○	○					
万有引力						○				
気体分子の運動						○	○			
波の性質								○		
音と光									○	○